

# 総目次

発刊のことば

肱川町誌編纂会長(肱川町長) 藤川守仲  
 扉 絵 大野捷吉 題 字 編纂会長  
 航空写真 グラビヤ

## 第一編 自然環境

第一章 肱川町の概観	三
第二章 地形	八
第三章 地質及土壌	二一
第四章 気候と災害	三六
第五章 生物	四八
第二編 歴史	六三
第一章 原始 古代	六五
第二章 中世	七二
第三章 近世	八〇
第四章 近代	一二八

## 第三編 行政及財政

第一章 行政区画の変遷	一六三
第二章 町政	一七一
第三章 財政	二〇七
第四章 社会福祉	二二七
第五章 保健衛生	二三八
第六章 消防 警察	二五七
第七章 土木	二七〇
第八章 選挙	二九四
第九章 兵事	三〇六
第四編 産業経済	三二三
第一章 農業	三二五
第二章 林業	三七四
第三章 漁業	三八七
第四章 商工業	三九三
第五章 交通運輸	三九八
第六章 通信	四〇八
第七章 金融	四一三

## 第八章 観光

## 第五編 教育 宗教 文化財

### 教育 編

第一章 学校教育	四二五
第二章 教育委員会	四八六
第三章 社会教育	四八七
宗教 文化財編	五一八
第一章 神社	五一八
第二章 寺院	五二八
第三章 その他の宗教	五三九
第四章 文化財	五四〇

## 第六編 民俗

第一章 村落社会	五五五
第二章 衣食住 労働慣行	五六一
第三章 年中行事	五七三
第四章 人生儀礼と民間信仰	五九一
第五章 伝説	六〇三
第六章 暮らしの中に生きていたうた	六二四

## 第七章 こどもの遊びとうた

## 第八章 方言 俚諺

## 第七編 年表

年号索引	六七二
年表	六七三

## 第八編 掉尾

町将来への展望	六八六
索引	六九三
町誌編纂の参考資料 文献	六九七
肱川町誌編纂会の組織	六九八
編纂後記	六九八
ソノシート内容	七〇〇

## 裏表紙 肱川町現況図

## 付録

ソノシート(1A 1B) 方言	
ソノシート(2A 2B) 地域のうた	
肱川町地図 五万分の一	

第一編 自然環境

# 目次

第一章 肱川町の概観	三	第四章 気候と災害	三六
第一節 関係的位置	三	第一節 気候	三六
第二節 数理的位置	三	一 気温	三六
第三節 交通的位置	五	二 降水量	三八
第四節 面積	七	三 風	四一
第二章 地形	八	第二節 災害	四二
第一節 肱川流域の地形概観	八	大地の地すべり	四二
第二節 肱川町の地形	一一	第五章 生物	四八
第三節 地形と人文	一九	第一節 動物	四八
第三章 地質及土壌	二一	一 陸生動物	四八
第一節 地質概説	二一	鹿野川獣骨の発掘	五一
第二節 地質各説	二二	二 水生動物	五三
第三節 地質と災害	二八	第二節 植物	五五
第四節 土壌	三一	一分 布	五五
		二 低山の植物	五八
		三 低地の植物	六〇
		鹿野川ダム付近の植物	六〇

第二編 歷

史

# 目次

第一章 原始 古代……………	六五	七 南筋中組……………	九七
第一節 鹿野川原人……………	六五	八 村名替について……………	九八
第二節 紀元前の肱川地区……………	六九	第二節 封建制度下の農民……………	一〇〇
第三節 喜多郡の成立……………	七〇	一 宗門改について……………	一〇〇
第二章 中 世……………	七二	二 藩政時代の特産物……………	一〇二
第一節 平安時代から戦国時代へ……………	七二	三 長浜の波戸（築港）構築……………	一〇六
第二節 戦国時代……………	七四	四 大洲領 新谷領における史料……………	一〇七
第三章 近 世……………	八〇	五 甚五郎の孝養（宇和川村）……………	一〇九
第一節 封建制の確立とその持続……………	八一	六 藩主の巡領……………	一一〇
一 郷村統治について……………	八一	七 つぶれ百姓……………	一一四
二 検 地……………	八五	八 農民騒動……………	一一五
三 租 税……………	八六	九 幕末の状況……………	一二三
四 久下の飛地……………	九一	第四章 近 代……………	一二八
五 庄 屋……………	九三	第一節 明治維新……………	一二八
六 五人組について……………	九六	第二節 肱川村の成立……………	一三三
		第三節 肱川 河辺二村の分立……………	一三九
		第四節 肱川中学校の建設……………	一四九

第三編 行政及財政

# 目次

第一章 行政区画の変遷	一六三	第二節 各種疾患	二四〇
第一節 版籍奉還から	一六三	第三節 環境衛生	二四九
第二節 地域のうつりかわり	一六四	第四節 その他	二五二
第三節 肱川村の誕生とその後	一六六	第六章 消防 警察	二五七
第二章 町 政	一七一	第一節 消 防	二五七
第一節 明治初期の自治	一七一	第二節 警 察	二六七
第二節 町村制施行以後	一七四	第七章 土 木	二七〇
第三節 三か村合併	一七八	第一節 道路 橋梁	二七〇
第四節 町政施行後	一九五	第二節 ダム建設と捷水路	二八七
第三章 財 政	二〇七	第三節 水力発電	二九一
第一節 旧村の財政	二〇七	第四節 地籍調査	二九三
第二節 当町の財政	二一八	第八章 選 挙	二九四
第四章 社会福祉	二二七	第一節 地域と選挙制度	二九四
第一節 社会福祉事業	二二七	第二節 肱川町の選挙	三〇二
第二節 国民年金	二三六	第九章 兵 事	三〇六
第五章 保健衛生	二三八	第一節 募兵から	三〇六
第一節 保健衛生業務の推移	二三八	第二節 各戦役	三〇九
		第三節 戦終って	三一〇
		戦病死者名簿	三一一

第四編 產業經濟



# 目次

第一章 農 業	三二五	第四章 商工業	三九三
第一節 農地の分布	三二五	第一節 商工業の推移	三九三
第二節 農地改革と土地改良	三三一	第二節 川上商工会	三九六
第三節 農業経営	三四二	第五章 交通運輸	三九八
第四節 農産 畜産の推移	三四七	第一節 河川の利用	三九八
第五節 農業団体	三六三	第二節 陸上の交通輸送	四〇三
第二章 林 業	三七四	第六章 通 信	四〇八
第一節 山林の分布	三七四	第一節 郵便事業	四〇八
第二節 林業経営	三七五	第二節 放送施設と情報	四一一
第三節 森林組合	三八三	第七章 金 融	四一三
第三章 漁 業	三八七	第一節 金融の推移	四一三
第一節 肱川と漁業	三八七	第二節 頼母子講 負債整理組合	四一四
第二節 漁具と漁法	三八八	第三節 銀行 その他	四一五
第三節 肱川漁業協同組合	三九二	第八章 観 光	四一八
		第一節 観光の推移	四一八
		第二節 観光資源	四一八

第五編 教育 宗教 文化財

# 目次

## 教育編

第一章 学校教育	四二五
第一節 明治の教育	四二五
第二節 昭和の教育	四三七
第三節 中学校教育	四六五
第四節 青年教育	四七六
第五節 高校教育	四七九
第六節 幼児教育	四八三
第二章 教育委員会	四八六
第三章 社会教育	四八七
第一節 公民館	四八八
第二節 婦人会	四九七
第三節 青年団	五〇一
第四節 P T A	五〇七
第五節 現代の社会教育	五一〇

## 宗教 文化財編

第一章 神社	五一八
第一節 神社の変遷	五一八
第二節 神社の合祀以後	五一八
第三節 現代の神社	五一九
第二章 寺院	五二八
第一節 寺院の変遷	五二八
第二節 現在の寺院	五二九
第三節 お堂	五三五
第三章 その他の宗教	五三九
第四章 文化財	五四〇
第一節 指定文化財一覧	五四〇
第二節 県指定 無形文化財	五四一
第三節 県指定 天然記念物	五四四
第四節 町指定 有形文化財	五四五
第五節 町指定 史跡	五四六
第六節 町指定 天然記念物	五四七

第六編 民俗

# 目次

第一章 村落社会	五五五	第二節 葬	五九六
第一節 地 名	五五五	第三節 民間信仰	五九九
第二節 姓 名	五五九	第四節 けがや病気を治す知恵	六〇〇
第二章 衣食住 労働慣行	五六一	第五章 伝 説	六〇三
第一節 衣	五六一	第一節 宇和川地区の伝説	六〇三
第二節 食	五六三	第二節 岩谷地区の伝説	六一二
第三節 住	五六七	第三節 予子林 中津地区の伝説	六一五
第四節 生活上の工夫	五六九	第四節 大谷地区の伝説	六二〇
第五節 労働慣行	五七一	第六章 くらしの中に生きていたうた	六二四
第三章 年中行事	五七三	第一節 仕事とうた	六二四
第一節 昔の年中行事	五七三	第二節 子守うた	六三五
第二節 特別な年中行事	五八一	第七章 子どもの遊びとうた	六四三
第三節 現代の年中行事	五九〇	第一節 手を用いる遊びとうた	六四四
第四章 人生儀礼と民間信仰	五九一	第二節 おにごっこ その他	六四七
第一節 慶 事	五九一	第八章 方言 俚諺 <sup>りげん</sup>	六五二
		第一節 方 言	六五二
		第二節 俚 諺	六六八

索  
引

安楽寺……………	五三〇	伊子銀行……………	四一五	園南寺……………	五五九	大津城……………	七四
綾井章江……………	一四六	岩谷橋……………	二八一	衛生組合……………	二三八	簡易小学校……………	四三〇
赤岩橋……………	四六八	池田万千雄……………	二〇五	愛媛県立大洲高校……………	四七九	貝吹村……………	一七五
秋 祭……………	五八〇	岩田帯……………	五九一	愛媛県議会議員……………	二九八	鹿野川派出所……………	二六八
甘 茶……………	五七六	う		愛媛県知事……………	三〇〇	鹿野川小学校……………	四六二
雨 乞……………	五七七	内の子騒動……………	一一五	お		鹿野川大橋……………	二八四
い		宇和川騒動……………	一一九	大野直範……………	七四	鹿野川橋……………	二八四
岩本将監……………	七八	宇和川南尋常小学……………	四五〇	大野直之……………	七四	鹿野川原人……………	六五
伊勢踊……………	五八三	宇和川北尋常小学……………	四五二	小藪騒動……………	一一八	鹿野川タクシー……………	四〇七
伊予鉄バス……………	四〇六	宇和川村婦人会……………	四九七	大谷青年会……………	五〇一	鹿野川ダム……………	一八
岩谷小中学校……………	四五五	宇和川村青年会……………	五〇一	大谷文楽……………	五四一	鹿野川簡易水道……………	二四九
筏流し……………	四〇〇	宇和水力発電会社……………	二九三	大谷方言……………	六五二	川上商工会……………	三九六
		宇和川青年学校……………	四七九	おこもり……………	五八五	学校給食……………	四四七

そ

漕艇大会	二六四
村名替	九八
惣川発電所	二九三
村会議員	一九四
村役場	一七四
村三役	一八五
葬儀	五九六
た	
太平洋戦争	三一〇
大日本婦人会	四九八
ダム建設	二八七
谷本義光	三〇〇
頼母子講	四一四
ち	
町公民館	四八八
町民運動会	四九四
町民プール	一九八

長命寺	五三三
駐在所	二六八
町長	二〇〇
町議会	一九四
町花 町木	一九九
て	
電話開通	四一一
展望台	四二〇
天然記念物	五四四
伝染病	二四〇
出初式	二六四
と	
富永右近守	七二
富永彦三郎	一〇七
道路改修(大谷村)	二七四
土居良子	一三四
道野尾八幡神社	五二一
年祝い	五九六

な

中野三島宮	五一九
中津小学校	四六三
中野梅英	四七七
中野小学校	四五〇
中居谷八幡神社	五二二
に	
入徳学校	四六三
日清戦争	三〇九
日露戦争	三〇九
日華事変	三一〇
日本軍	三〇八
の	
野村騒動	一二〇
農業協同組合	三六八
農地委員	三三二
農業経営	三四二
農村集団自動電話	四一一

は

農地改革	三三一
農業構造改善事業	一九六
農業倉庫	三七二
脳卒中	二四四
は	
版籍奉還	一六三
ひ	
肱川郵便局	四一〇
肱川村成立	一八八
肱川定時制高校	四七九
肱川漁業協同組合	三九二
肱川村教育委員会	四八六
肱川中学校	四七〇
久下地すべり	二八
肱川音頭	四二一
肱川町公民館	四八八
肱川町の財政	二一八
肱川発電所	二九一

鹿野川商工会	三九六
河辺村分立	一三九
春日神社	五二三
河辺橋	二八四
開業医	二四六
隔離病舎	二四二
癌	二四四
火葬場	二五一
火災	二六五
合併	一八八
鏡開き	五七五
き	
客神社	五二四
教育委員会	四八六
抛出年金	二三六
寄生虫	二四二
基本財産	二一六
共同募金	二三五

く

栗選果場	三七三
郡会議員	三〇一
食いぞめ	五九二
生活の唄	六二四
け	
県営発電所	二九一
結核	二四三
警防団	二六二
敬老会	二三一
こ	
光明寺	五三四
国民学校	四三八
国鉄バス	四〇六
国民健康保険	二二二
豪雪	三九
国土調査	二九三
国道	二八五

こ

金刀比羅神社	五二七
ごみ	二五〇
国会議員	二九七
広報肱川	二〇〇
国民年金	二三六
子供の日	五七六
婚姻	五九三
講	五九九
子守唄	六三五
し	
四分市村	七八
正倫学校	三二七
消防組	二五七
省営バス	四〇六
新憲法	一九三
獸骨化石	六七
齒科診療所	二四八
振興山村事業	一九七

せ

商工業	三九三
正山小学校	四五二
鎮繩神楽	五四三
心臓病	二四四
診療所	二四八
助産婦	二四八
し尿	二五一
人口	二五四
消防団	二六三
せ	
戦病死者名簿	三一
千之分校	四二六
青年学校	四七八
青年大学	四九三
生産調整	三五〇
赤痢	二四一
せかき	五七九
生活保護	二二八

離祭	五七六	まじない	六〇〇	横林村	一八八	六三制	四六五
PTA	五〇七	み		予子林 <small>尋常</small> 小学校	四三一	老友会	二二二
ふ		宮武熊丸	二〇三	横林発電所	二九二	老人福祉	二三四
藤川守仲	二〇一	民生委員	二二七	横林農事懇談会	三六三	わ	
福祉年金	二二六	南筋中組	九七	横林村警防団	二六二	和氣和泉守	七三
仏事	五九七	巳午	五八〇	予子林 <small>煙草</small> 耕作組合	三五一	和氣郁太郎	二七四
へ		宮参り	五九二	横林消防団	二六三	若水くみ	五七四
へき地集會室	一九七	め		横林養蚕協同組合	三五四	輪ぬけ	五八一
へら鮎	五四	免	八六	横林公民館	四八九	補遺	
ほ		や		横林村酪農組合	三六一		
放送	四一一	山鳥坂春日神社	五二三	予子林小学校	四五七		
本願寺	五三二	夜学校	四七六	余家定栄	二四九		
ボウスイ虫	六八	山田庄太郎	二〇二	八日ぶき	五八〇		
堀小 河中焼失	二六六	藪入り	五七五	り			
盆踊	五七八	厄	五九五	林業経営	三七五		
ま		よ		林業構造改善事業	一九七		
松の越	一〇	陽春院	五二九	里道	二七〇		
松島神社	五二四	予子林郵便局	四〇八	ろ			